

西脇市消費生活センター

☎22-3111 (防災安全課内)

No.192

「詐欺的サイト」に注意

インターネット通販で代金を支払ったが商品が届かない、届いた商品が粗悪品だった、事業者と連絡が取れない、偽サイトだったといったトラブルが発生しています。次のポイントに十分注意しましょう。

◆怪しいサイトのチェックポイント (4つ)

①会社情報は掲載されているか

サイト内の「会社概要」「特定商取引に基づく表示」などを確認。住所や電話番号の掲載がない、住所が不完全、メールアドレスしか掲載されていない場合は注意が必要です。

②サイトの文章が不自然でないか

外国語を直訳したような表現や、字体が通常使用されない旧字体などの場合は気を付けましょう。

③支払方法が銀行振込のみになっていないか

複数の支払方法を選べるはずが、最終的に銀行振込(前払い)しか選択できない場合は要注意です。

④大幅値引き、極端に安価になっていないか

* * * * *
困ったときは、西脇市消費生活センターへご相談ください。

あぐりコラム 30

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線 2031)



食品ロスを防ぐイチゴの六次産業化も「フードシフト」

「フードシフト」でこれからの「食」を考える

日本社会が大きな変化に直面する中、私たちが真摯に向き合わなければならないテーマの一つが「食」です。近年、食の簡便化などが進み、食と農との距離が遠くなることで食料自給率にも影響を与えています。また、輸入食品の増加や、食と環境との調和を考えることも重要な課題です。

今年7月、農林水産省は新しい国民運動「ニッポンフードシフト」を発表しました。フードシフトとは、これからの「食」がどうあるべきかを、消費者や生産者、行政などが一体となって考え、議論し、行動すること。例えば、畑などを荒らし害獣として駆除されるイノシシやシカの肉を、ソーセージに加工したり、ジビエとして提供したりする取り組みが当てはまります。西脇市内では、特産品のイチゴでフードシフトを実施。形が崩れたイチゴをジャムやお菓子に加工して、食品ロスを防いでいます。

これからの時代、私たちは時代の変化に柔軟に対応し、「フードシフト」を通して食を見直し、確立する必要があります。



▲鈴木准教授(右)が保育事例と「遊び」を解説

好きです!! にしわきわたしのふるさと

心紡いで 彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

幼児教育との連携

ゼロからの小学校教育にしないために

0～15歳の貫いた教育・保育体制の構築のため、市教育委員会で「幼児期の教育」と「小学校教育」の円滑な接続に取り組んでいます。今年度からは、入学当初のカリキュラムへの理解推進を図る合同研修のほか、小学校教諭がこども園や幼稚園を訪問し、園の教育・保育参観を開始しています。

円滑な小学校生活を始める「スタートカリキュラム」

国は小学校へ入学する子どもがスムーズに学校生活に適應できるように、入学当初の教育課程「スタートカリキュラム」の作成を推進しています。幼児期の遊びや生活を通して、「学び」を総合的に育むことも園や幼稚園等の保育理念と状況を理解した上で、園での経験を生かしたカリキュラムの作成・実施は必要不可欠です。そのため、西脇市は次の独自の研修や事業に取り組んでいます。

②園への交流訪問

①小学校への接続・連携研修
小学校への接続や連携、カリキュラムの共通理解のために、こども園・幼稚園・小学校の教職員が参加する合同研修を実施。兵庫教育大学の鈴木正敏准教授が年齢に沿った小学校入学への引き継ぎを事務的に進めるだけでなく、小学校教諭が校区内の園を訪問。子どもたちの生活の様子や保育を参観しています。参加者からは「発達に応じた細やかな支援がある」「保育環境が工夫されていた」といった感想が寄せられ、実際に目で見ることで入学後の生活を想像する機会となっています。

◆問合せ 幼児教育センター(しばざくら幼稚園内) ☎2212432

心のスケッチ

150

人権教育課「コラム」

自分自身を好きになる

この夏、西脇市は兵庫県などとともに「ひょうご・ヒューマンフェスティバル2021 inにしわき」を開催しました。この催しは、参加型の取り組みを通して広く人権尊重意識の普及高揚を図り、人権文化を醸成するために、年に一度、兵庫県内で実施されているものです。当日は、西脇市出身のシンガーソングライター・A.O.Iさんによるミニコンサートや、タレントで俳優の副島淳さんによる講演会などがありました。

今回は副島さんの素晴らしい講演を紹介したいと思います。副島さんはアメリカ人の父と日本人の母のもと、東京で生まれ、千葉県で育ちました。アメリカルーツのその容姿から、小学生の頃はいじめを受け、つらい日々を過ごしたといいます。そんな彼に母親は「あなたは特別な存在なんだ。立っているだけで目立つなんて、とても良いことじゃないか。生きていけば、時代が変われば、明るくい時代が来る」と声を掛けたそう。中学校に入学した副島さんは

バスケットボール部に入部。部活動に熱中します。すると、コンプレックスだった高身長はプレーに生かすことができ、自己肯定感が生まれました。そして、バスケットボールがきっかけで、芸能界の世界に足を踏み入れた副島さん。副島さんは「母が言った『立っているだけで目立つ容姿』は、芸能界で活躍する上で自分の『武器』の一つだと思える」と、自身の体験を語りました。

容姿に限らず、人の数だけ趣味嗜好や価値観があります。それが周囲の人と違っていると分はみんなと違う」と否定的に考えてしまつて、自己を肯定することができない人がいるのではないのでしょうか。しかし、副島さんのように「みんなと違うところが私の『武器』であり、良いところだ」と思うとどうでしょう。

相手を思いやり、気遣うだけでなく、自分自身に対して、その存在価値を認めることがとても大切なことだと思います。自分自身を好きになり、自分の人権も守っていきたいですね。

市長からの手紙

西脇を元気に!!

93



西脇市長 片山象三

「メイドイン西脇・播州織」を全国に発信

今年3月、劇団四季と西脇市は、播州織の振興と地域の活性化を目的に連携協定を結びました。今回、同社の新作「ファミリミュージカル」は

ランドのrenacnataがコラボレーションして、播州織のネクタイとスカートが限定販売されています。播州織の素晴らしさが一段と際立つハイセンスな商品を見て、誇らしく感じました。

じまりの樹の物語」の舞台で、共同開発した生地が舞台衣装として使用されています。全国公演が9月にスタートしている、令和4年1月には、西脇市での上演が決まっています。また、舞台衣装に播州織を使っていたことがご縁となり、劇団四季とアパレルブ



ビームスの社員らが播州織の新製品を確認

さらに、今年度は大手セレクトショップ・BEANSと連携し、播州織新製品の開発と認知度を向上する事業を展開しています。この事業への応募17社のうち、ビームスが選定したのは、つり針やかばんの事業所を含む8社。ビームスのアドバイスで、より磨きのかかった商品が期間限定で東京の店舗やオンラインで販売される予定です。これまで、播州織は海外高級ブランドでも採用されてきましたが、そのことを知る人は多くいません。このたびの新製品の発信で、認知度が大きくアップすることを期待しています。「元気なまち西脇市」をともに創ってまいります。

